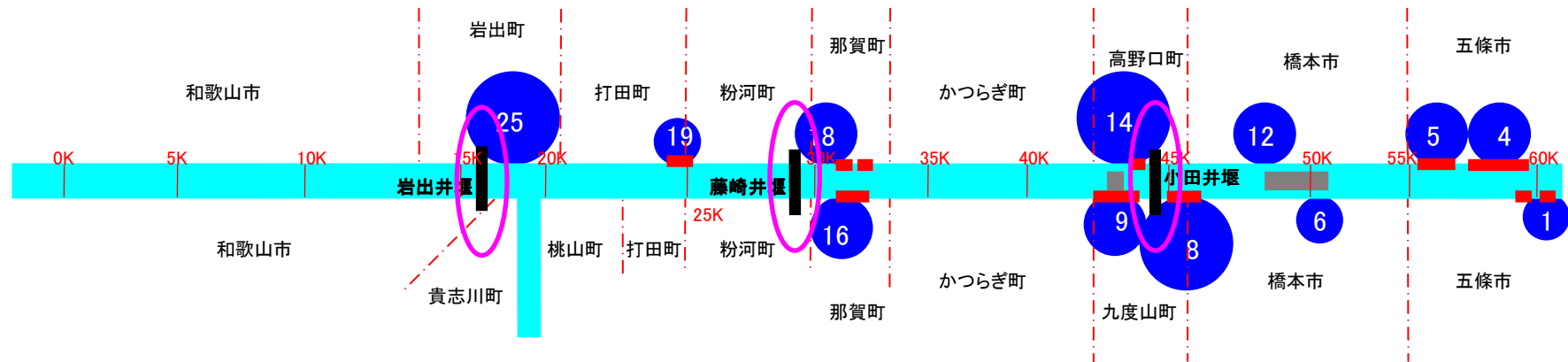


## 4. 河川整備箇所現状

# 昭和34年9月洪水における氾濫箇所

昭和34年9月型洪水(計画雨量313mm)における氾濫箇所及び対策箇所は、以下のとおりである。



凡例

- ① : 現況想定氾濫ブロック  
(数字はブロック番号)
- : 築堤箇所
- : 掘削箇所
- : 狭窄部

## (1) 無堤箇所現状

# 土地利用計画(那賀町)

- 1. 観光ゾーン
- 2. 農業振興ゾーン
- 3. 商工・住宅ゾーン
- 4. 住宅・田園ゾーン

## ◆ゾーン別の基本方針

「第四次那賀町長期総合計画」より抜粋

### 1. 観光ゾーン

金剛生駒紀泉国定公園のエリアにある葛城山頂には天然ブナ林やキャンプ場、展望台があり、関西国際空港や淡路島を一望できる景観に優れた観光地となっています。ここには、都会住民のアウトドア・「癒し」志向や健康増進意識の高揚を反映し、他府県からの来町者が季節を問わずやってきます。今後は交流をさらに活発なものとするために、森林レクリエーション施設の整備を促進するとともに、「青洲の里」や宿泊施設等とのアクセスがスムーズになるよう道路・ハイキングコース等を整備し、滞在・体験型観光の拠点となるよう観光振興に努めていきます。

### 2. 農業振興ゾーン

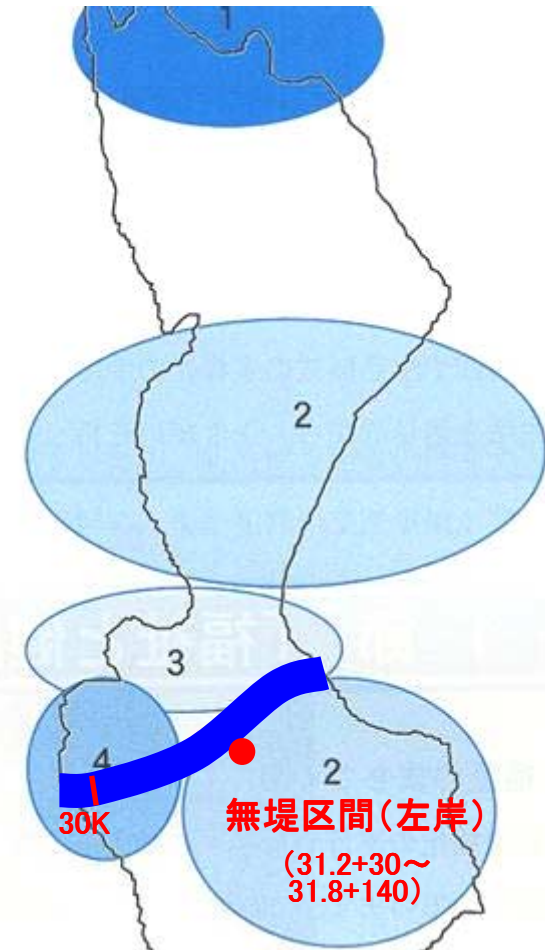
樹園地を中心とした農産物生産地域です。河南地域の広域農道建設の促進や生産基盤整備、農地流動化等により、農用地の高度・有効利用を図り生産力を向上させるとともに、高付加価値農業への展開として複合経営や有機栽培等への取り組みを支援・推進していきます。また、都市との交流を促進するため、観光農園の拡充等に取り組みます。

### 3. 商工・住宅ゾーン

本町の中心部であり、住宅が密集し商工業の集積地となっています。町役場を始め、図書館、総合センター、すこやかセンター、学校・保育所、交番等公共施設や病院等が集中しており、「青洲の里」もこの地域に入ります。JR名手駅、和歌山バスの営業所・停留所等本町の交通機関の拠点となる地域です。この地域には町営住宅もあり、今後は住宅地域としてのより一層の生活基盤整備が求められています。また、来町者に対する利便性向上や他地域へのアクセスの良さへの配慮に努められなければなりません。

### 4. 住宅・田園ゾーン

水田耕作や野菜畑等の農業中心の田園地帯ですが、企業立地や新興住宅地があります。工業跡地を住宅地として転用する等、宅地需要に対して提供できる地域であり、自然環境の保全に配慮しながら、住宅地域としての整備が求められます。また、紀の川の清流を活かした親水公園の整備を図ります。



那賀町全体構想図

# 背後地の土地利用規制(那賀町)

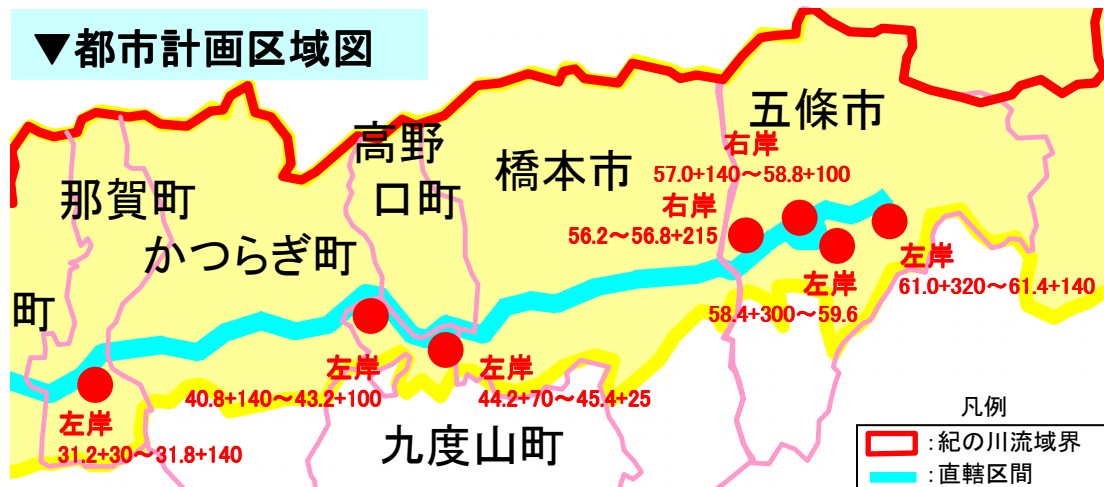
## ▼都市計画区域

背後地周辺は、全て都市計画地域になっているが、市街化区域と市街化調整区域については未線引きである。

## ▼農業振興地域及び農用地区域

背後地周辺は、農業振興地域整備計画において農業振興地域及び農用地区域に指定されている。

## ▼都市計画区域図



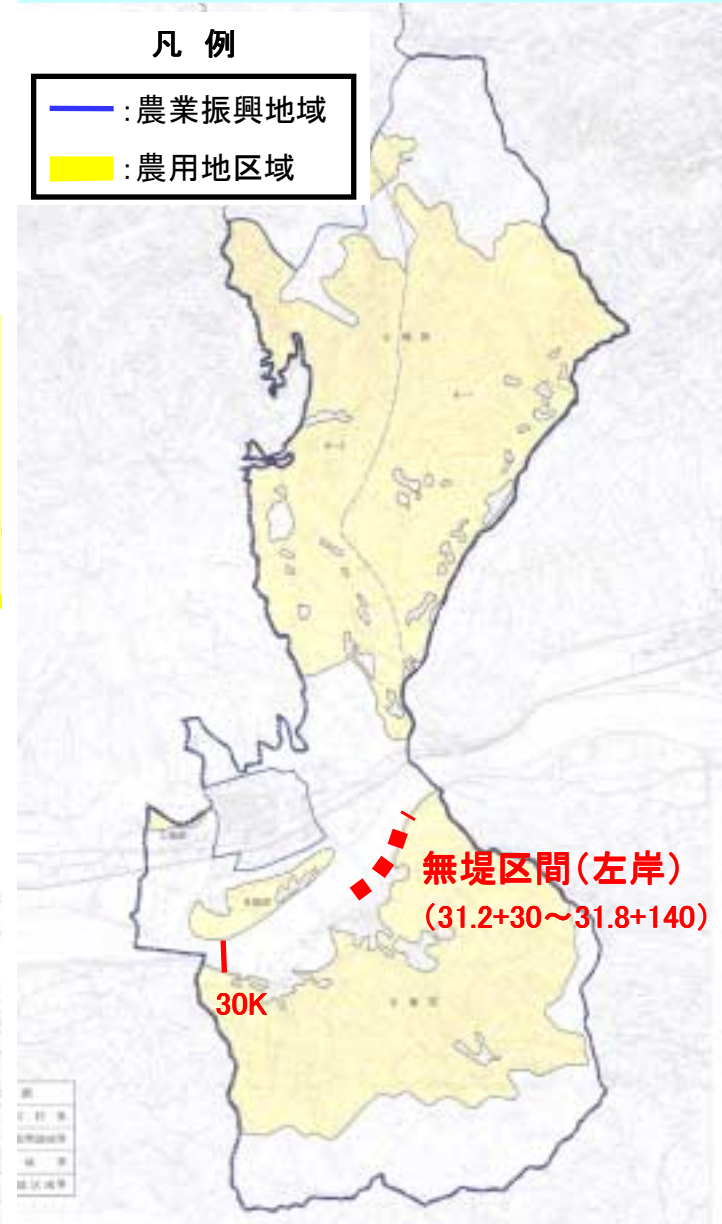
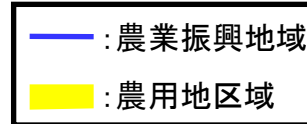
※紀の川流域の都市計画区域は、以下のとおりであり、用途地域が指定されている市町村は、和歌山市、橋本市、五條市のみである。

## ▼農業振興地域及び農用地区域

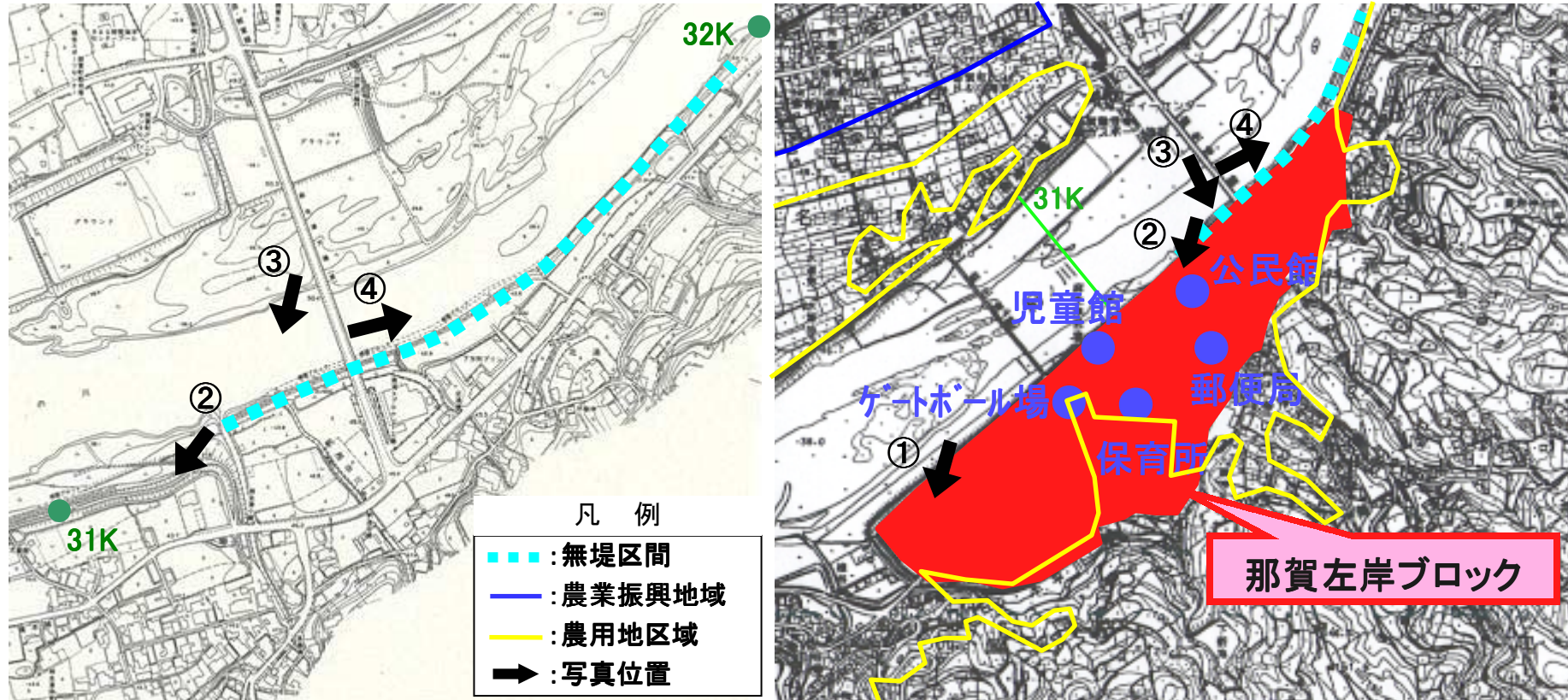


## ▼農業振興地域及び農用地区域

凡例



# 左岸31.2+30~31.8+140(那賀郡那賀町)



※農業振興地域及び農用地区域は、1/25,000スケールからの転記であり、地籍等は考慮していない。



宅地化が進展している



公民館が立地している



墓地が位置している



築堤工事が未実施

# 左岸31.2+30～31.8+140(那賀郡那賀町)

## ▼氾濫区域面積

0.29km<sup>2</sup>

## ▼浸水建物数

	戸数	内訳
人家	172	
公共的建物	5	公民館 児童館 郵便局 保育所 ゲートボール場
その他		



# 左岸31.2+30～31.8+140(那賀郡那賀町)

## ▼氾濫区域面積

0.29km<sup>2</sup>

## ▼浸水建物数

	戸数	内訳
人家	172	
公共的建物	5	公民館 児童館 郵便局 保育所 ゲートボール場
その他		





# 麻生津大橋周辺の自然環境

## 【河道内について】

- 築堤区間付近の河道内は淵になっている。麻生津大橋寄りも下流部のほうが上流部よりも深い。
- 河床は石質であり、おもに沈み石となっている。
- サギ類の集団繁殖地・集団ねぐら、カモ類の集団越冬地がある。

## 【河川敷について】

- 右岸側の河川敷が発達しており、主にヨシ・ツルヨシ群落広がっている。カヤネズミやオオヨシキリの生息場所になっているものと考えられる。
- 堤防付近はグラウンド等に利用されている。

